

平成30年(2018年)4月7日 (土曜日)

# 三島駅南口 東街区再開発

# 事業者にアスマチJ.V

# 商業棟やホテル・住宅棟

三島駅南口東街区再開発事業で事業協力者を公募していた三島市は6日、最優秀提案者にミサワホーム(本社・東京都)を代表企業とする「アスマチ三島プロジェクト」共同企業体(J.V)に決定したと発表した。豊岡武士市長は「長年の懸案が一步前進した」と話した。



2025年オープンを目指す三島駅南口東街区再開発事業の完成予想図

## 25年オープン 総事業費220億円

豊岡市長「懸案が一步前進」

公募は昨年11月に開始した。5J.Vが提出した提案書を4人の専門家による2回の審査を経て選定した。同J.Vはミサワホームをはじめミサワホーム静岡、東レ建設、野村不動産、三菱地所レジデンス、アール・アイ・エーの6社で構成。地

権者らを含む再開発準備組合との優先交渉権を得たことで、5月に予定する協定締結により事業協力者になる。提案した施設は約1万2500平方メートルの敷地の西側に商業棟、北側にホテル・住宅棟、南側に商業・住宅棟、東側に駐車場棟の4棟

を建設する。商業棟は4階建て延べ床面積3100平方メートル、ホテル・住宅(マンション)棟は高さ99.5メートルの24階建てで100室と194戸、商業・住宅棟は13階建ての88戸、駐車場棟は7階建てで駅・商業利用者の333台と住宅用293台。施設内に医療関連機関、フードマーケット、レストランなどが入る。計画では2025年2月のオープンを目指すとしている。

地下水と湧水保全から基礎工事でくいを打たない工法とし、地下水はくみ上げず状態を常に監視する。高層棟は中間免震で対応する。総事業費は国・県・市の補助を含め220億円。市の支出は補助金30億円、他、市土地開発公社からの土地取得費用31億円を加えて61億円という。

豊岡市長は「三島の発展に沿った提案になっている。東日本大震災のためデベロッパーが撤退したことがあるので選定まで進んだのはうれしい。J.Vは国内トップクラスのデベロッパー。魅力ある場所と感じてくれたのだろう」と話した。選定審査会は同J.Vについて、地質構造を理解し地下水・湧水に配慮した建物配置と基礎計画、景観に配慮した設計デザイン、周囲との一体的なまちづくりや回遊性を向上させる動線などを評価した。

という。総事業費は国・県・市の補助を含め220億円。市の支出は補助金30億円、他、市土地開発公社からの土地取得費用31億円を加えて61億円という。